



41 キャンドルファイヤー

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

ろうそくの火を囲みながら、語り合ったり、レクリエーションを楽しんだりします。

1 ねらい

自他を見つめ合い、共に活動することを通して、友情と協同の精神を養い、交流を深めさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 人数 プレーホール 160人以内、大ホール 100人以内、小ホール20人以内
- ② 期間 通年
- ③ 時間 1～2時間程度（ろうそくの燃焼時間は1時間程度）

3 職員の支援について

物品貸出し時に職員がつきます。活動支援に入ることはありません。

4 準備物

区 分	準 備 物	備 考
団 体	フォークダンス等のCD等	
個 人	特になし	
自然の家	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装 ・女神用トーチ ・手持ち用ろうそく台 ・アンプ、マイク ・燭台<small>しょくたい</small> ・プレーヤー（CDなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・女神1、付き人3、営火長1 ・プレーホール3 ・160台 ・プレーホール1、大ホール1
斡旋可能	<ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく大 ・ろうそく小 	<ul style="list-style-type: none"> ・1本280円 ・1本 20円

5 引率者の役割分担

係 名	役 割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

※参加者等の役割分担（例）

<ul style="list-style-type: none"> ・営火長（1） ・女神（1） ・付き人（1～3） ・司会者（1～3） ・分火係（若干名、各班1人等）
--

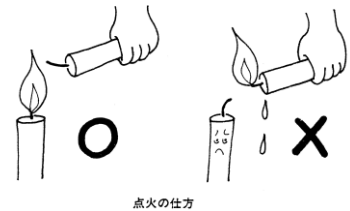
6 その他

- ・ろうそくは全部消えたのを確認し、夜または翌朝（清掃時）に片づけを行ってください。
- ・衣装や女神用トーチは所定の場所に返却してください。（プレーホール右部屋のロッカーの中）

7 活動の流れ

(例)

時 間	活動内容
一 部	<p>10 分</p> <p>↓</p> <p>集 合 ・プレーホール前廊下</p> <p>↓</p> <p>入 場 ・静かに燭台を1周（起立したまま）</p> <p>↓</p> <p>夕 べ の 歌 ・遠き山に日は落ちて（ハミング）</p> <p>↓</p> <p>聖 火 入 場 ・燭台を1周、定位置につく</p> <p>↓</p> <p>女神の言葉 （資料参照）</p> <p>↓</p> <p>分 火 ・分火係は、営火長のところへ集まる （女神→営火長→分火係）</p> <p>↓</p> <p>点 火 ・分火係は、自分の席にもどり、班員に点火</p> <p>↓</p> <p>献 詞 （資料参照）</p> <p>↓</p> <p>集 火 ・燭台へ班ごとに集火</p> <p>↓</p> <p>歌 ・もえろよもえろ（校歌、団体歌、楽しい歌等）</p>
二 部	<p>40 分</p> <p>↓</p> <p>レ ク ・レク、スタンプ、フォークダンス等 （全員が声を出し、体を動かし、楽しめるもの）</p> <p>↓</p> <p>80 分</p> <p>歌 ・静かな歌</p> <p style="text-align: right;">※このとき、営火係は女神のろうそくの火だけを残し、他の火を消す。</p>
三 部	<p>10 分</p> <p>↓</p> <p>営 火 長 の 言 葉 ・印象に残るもの （資料参照）</p> <p>↓</p> <p>歌 ・終わりの歌（1日の終わり、今日の日はさようなら等）</p> <p>↓</p> <p>15 分</p> <p>退 場 ・蛍の光を歌い、女神→営火長→1班…と退場</p>



≪資料≫女神の言葉 等

女神の言葉

私たちは、太平洋のつかいとして、〇〇学校みなさんに神の聖なる火をつかわすために来た女神です。

赤々と燃えるこの火には、平和と友情と親睦の願いが込められています。

みなさん、種差少年自然の家で友達と一緒にがんばったこと、苦しかったこと楽しかったことをいつまでも忘れずに、いっそう友情の輪を広げていきましょう。

営火長の言葉

私たちは、全員協力して、種差少年自然の家で、実りある生活ができたことに感謝します。

私たちは、青い海原と深い森に囲まれた種差の大自然のもとで〇泊〇日の生活を全員が協力しながら行い、一つの喜びと新しい友を得たことに感謝します。

赤々と燃える聖なる火は、末永く私たちの胸の中に残ることを信じてこのつどいを閉じたいと思います。

平成〇年〇月〇日

営火長 〇〇 〇〇

南犬 言司 (一人のとき)

家庭や学校からはなれ、海と山にひたり、青く広がる種差海岸を見たとき、自然の美しさをしみじみ感じます。

友達と一緒に汗を流しながらの活動、風呂での背中での流し合い、食事中やベッドの中でのおしゃべりなど、初めての経験から、「友達っていいな。」と感じました。

今日のこの感激を忘れることなく、この燃える炎のごとく、友情の火をいつまでも燃やし続けていきたいと思っています。

平成〇年〇月〇日

代 表 〇〇 〇〇

南犬 言司 (グループごと)

第一グループ 友情の火 私たちは友情を大切にすることを誓います。

第二グループ 社会に尽くす火 私たちは社会に尽くすことを誓います。

第三グループ 自然を大切にす火 私たちは自然を大切にすることを誓います。

第四グループ 誠実の火 私たちは誠実な人間になることを誓います。

